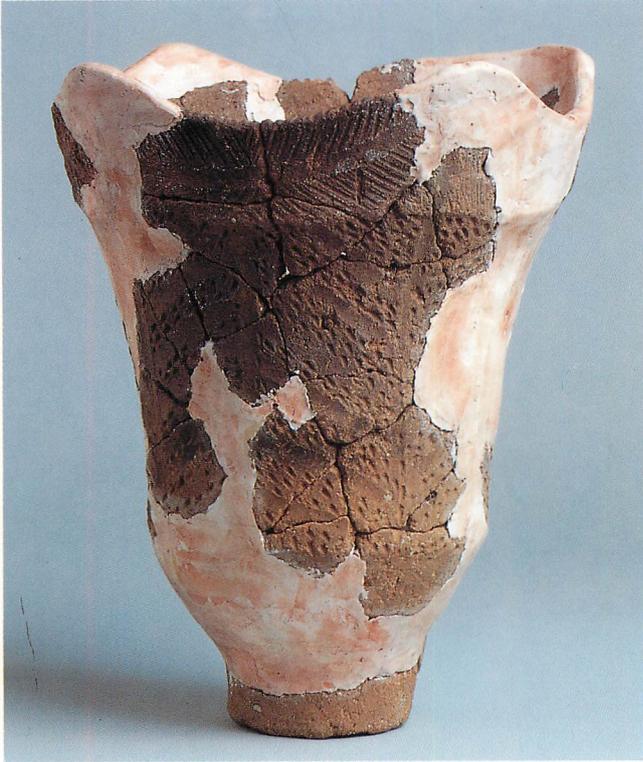


# 裾野市史

第一卷 資料編 考古

題字 裾野市長 市川 武



上川遺跡出土縄文土器 (縄文早期)



上川遺跡出土縄文土器 (縄文前期)



金沢上川遺跡出土装身具



上川遺跡 11・12・13号住居址発掘状況



千福細野沢遺跡出土縄文土器(縄文前期)



上川遺跡出土縄文土器(縄文中期初頭)



茶畑道場山遺跡出土縄文土器(縄文中期)



桃園尾畑遺跡出土顔面把手付土器(縄文中期)



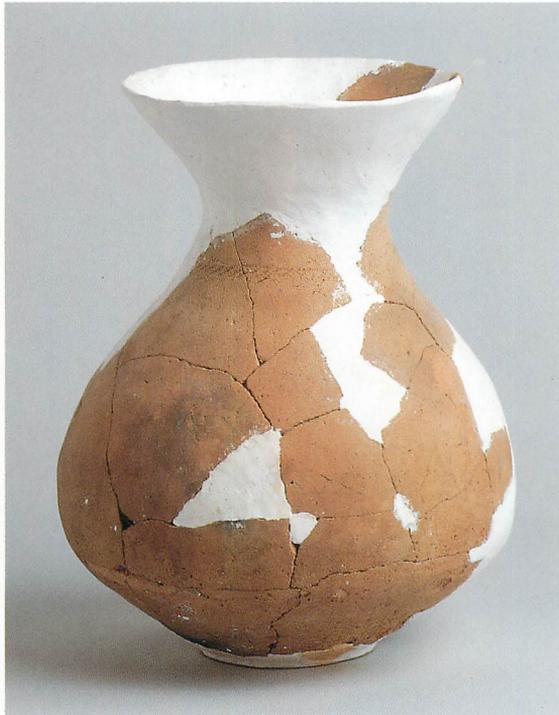
茶畑天神山・屯屋敷遺跡出土縄文土器(縄文中期後半)



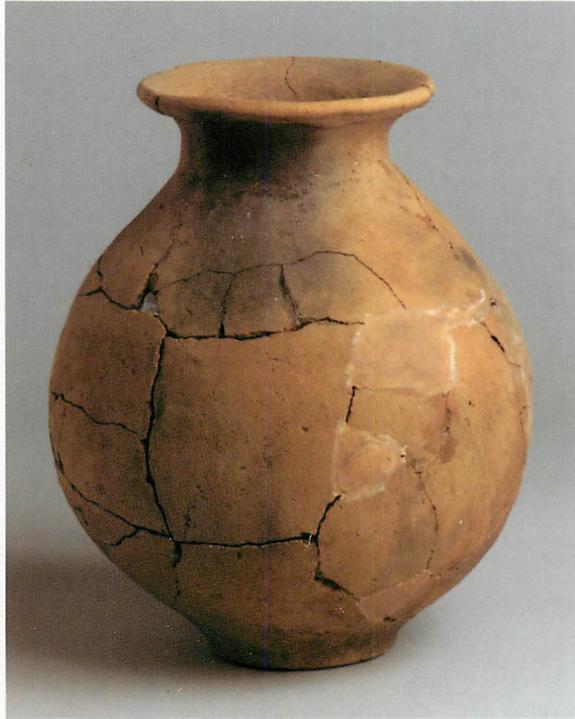
尾畑遺跡出土ひすい大珠



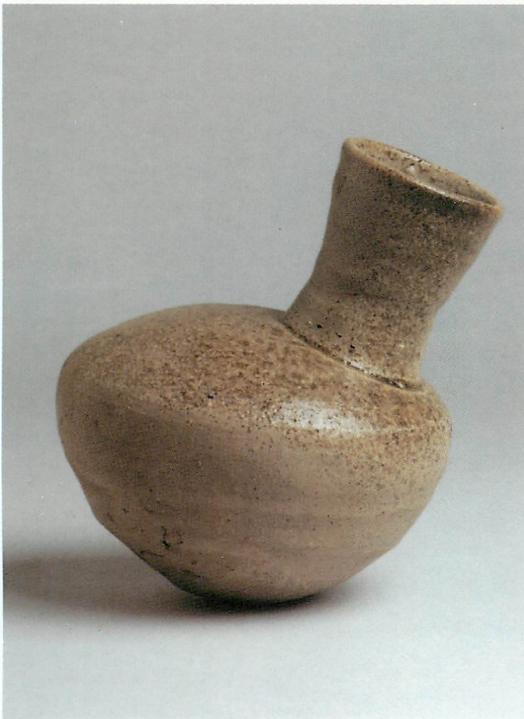
大畑熊野神社奉納土偶



富沢原遺跡出土弥生土器



葛山一色原遺跡出土土師器



中丸古墳出土須恵器



中丸古墳出土須恵器



須山滝ノ沢遺跡出土わらび手刀



上原遺跡出土墨書土器



富沢牧橋尾遺跡出土菊花双雀流水文鏡



大畑遺跡上屋敷地区掘立柱建物跡



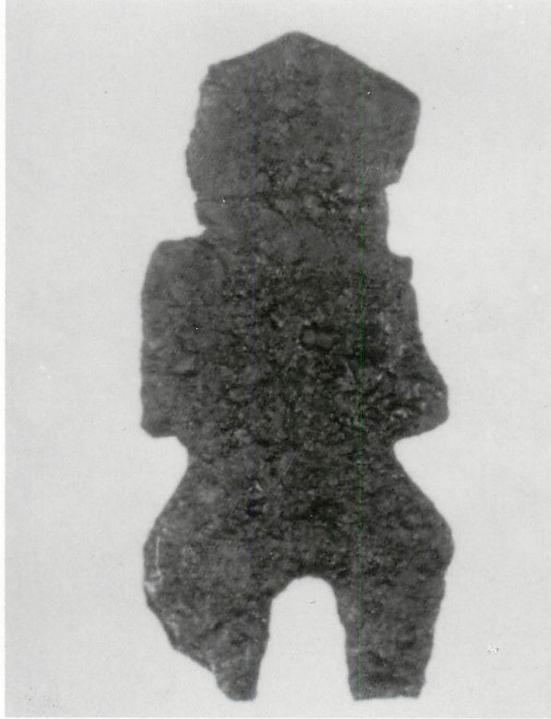
大畑遺跡上屋敷地区出土中国産合子



大畑遺跡上屋敷地区中世墓 集石第三面



大畑遺跡上屋敷地区中世墓 粘土面



大畑遺跡上屋敷地区出土鉄人形<sup>ひとがた</sup>



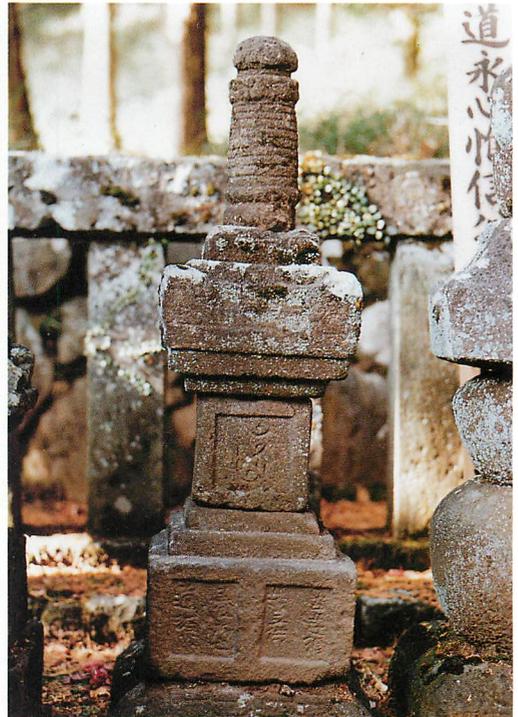
大畑遺跡上屋敷地区小鍛冶遺構



葛山仙年寺葛山氏墓所宝篋印塔・五輪塔



右宝篋印塔銘文



同宝篋印塔



葛山居館跡(右上)



茶畑柏木屋敷(中央)

## 発刊のことば

裾野市長 市川 武



裾野市史編さん事業は、これに携わる関係者の方々の熱意と創意工夫努力によって、その基礎が確立され、事業開始年度から『市史』への導入書としての、各種の研究・調査報告書を刊行してまいりました。事業の進捗も軌道に乗り、昨春は待ち望んだ裾野市史第一冊目である「資料編 深良用水」を発行することができましたが、好評でその反響の大きさに改めて驚いております。そして、ここに二冊目として「資料編 考古」を刊行する運びとなりました。当市では、昭和四十二年頃から本格的な発掘が開始され、大畑遺跡では鎌倉時代の初めの頃のものとして推定される合子や、同時代頃祈願・祈禱に使用されたものではないかと考えられる鉄人形等、重要かつ貴重な遺物や遺跡が発見調査されたこと、また市民の方で興味を持って独自に研究をされている方々によって発見された貴重な遺物等、時代別に旧石器・縄文・弥生・古墳等に分け、専門的な用語などは解説を付すなど資料編としては親しみやすくまとめていただきました。

私たちすべての市民は、いつの時代でも変わらざるべき発展を願っており、今日の裾野市の姿は、先人達のこうした思いと知恵と努力により、築きあげられてきたものです。われわれの祖先の足跡を、より多くの方々に今一度知っていただき、見詰め直していただくことを願ってやみません。

刊行にあたりましては、資料所蔵者・資料提供者をはじめ市史編さん関係者各位にご協力、ご指導をいただき誠にありがとうございます。ここに厚くお礼を申しあげます。

平成四年三月

# 編集にあたって

裾野市史編さん専門委員 中野 國雄

裾野市史編纂の事業は、昭和六三年度（一九八八）に始まりましたが、平成二年度（一九九〇）には資料編「深良用水」が刊行され、ついで平成三年度（一九九一）、第二冊目として原始・古代・中世までの「考古資料」編を発刊することになりました。

裾野市は東に箱根外輪山の山なみがあり、西には愛鷹山がそびえて、ともに森林地域を形成し、北は富士山麓の広大な原野がひらけ、南は駿河湾に向ってゆるやかな平坦地が広がり、そこにはいく筋かの河川が流れ下っているところです。山があり森があり、そして川があるすばらしい自然環境のなかで、人々は数万年前から生活を営んできたことは、市内にある多くの遺跡や、そこから出土したいろいろな遺物があることによって知ることができます。

このたび刊行される資料編は、市内で発掘調査された遺跡を中心にして記述しましたが、またそれ以外に発見されている遺跡や遺物をできるだけ多く収録し、幅広い視野に立って解説を加え、各時代の歴史的な位置づけが明らかになるよう努めました。遺跡の発掘報告書は、とかく一般的でないため、本編では専門的な用語はできるだけ平易にし、また末尾には用語の解説と、市内の遺跡・遺物に関する考古文献資料を載せました。

地中に埋れていた考古資料は、市民の皆様にも多くの興味と無限の夢を与えてくれるものです。本書はそうした意味で市民の皆様様の座右の書となることを願うものです。

末筆ながら本書の刊行にあたり、多くの貴重な資料を提供された方々や、協力をいただいた関係者の皆様にも厚く御礼申し上げます。

平成四年三月

## 凡例

- 一 本編は、裾野市史資料編のうち、考古資料編である。
- 一 本編は、裾野市内にある各遺跡を時代別（旧石器・縄文・弥生・古墳・歴史・石造物）に区分して解説した。但し歴史時代は、中世までとした。
- 一 各遺跡の解説は、発掘調査報告書（概報を含む）の刊行された遺跡を主体とし、それ以外の遺跡については概要を記載した。
- 一 中世城館跡については、現在遺構の確認されているものを主体とし、それ以外のものについては、概要を記載した。
- 一 各遺跡ごとの解説は、遺跡名、所在地、位置図、遺跡範囲図（立地図）、現状写真、本文の順序に掲載し、本文は位置と立地、発見と調査、層序と遺構、遺物、遺跡の特徴、現状、資料の所在、文献の順に記述した。
- 一 遺構・遺物等の図版・写真は、本文中に記述の必要に応じて挿入した。
- 一 本文は、各発掘調査報告書の記述に従ったが、文体を容易にするため、加筆・訂正し、不必要な箇所は削除した。
- 一 各遺跡の位置図・遺跡範囲図（立地図）は、裾野市発行の一万分の一、二千五百分の一の地図を使用し、付録の裾野市遺跡分布図には、裾野市発行の二万五千分の一の地図を使用した。
- 一 各遺跡番号は通し番号とし、裾野市遺跡分布図の使用番号とした。
- 一 文献は、各遺跡の発掘調査報告書（概報）を主とし、本文中に引用した文献は記載しなかった。
- 一 発掘調査報告書の発行されていない遺跡の文献については、その遺跡名を記録した文献だけに限定した。
- 一 本文中における人名は、敬称を省略した。
- 一 本文中に使用した考古学用語のうち、難解な用語については、巻末に解説をつけた。

# 目次

口 絵

発刊のことば

編集にあたって

凡 例

裾野市長市川武

裾野市史編さん専門委員 中野國雄

## 序 章 裾野市の遺跡概要

はじめに

第一節 旧石器時代

第二節 縄文時代

第三節 弥生時代

第四節 古墳時代

第五節 歴史時代

第六節 石造物

## 第一章 旧石器時代

1 日向遺跡

2 丸山II遺跡

三

三

六

六

四

三

〇

八

七

五

三

一

第二章 縄文時代

3	富沢平林遺跡	三
4	尾畑遺跡	三
5	上川遺跡	三
6	道場山遺跡	兜
7	天神山・屯屋敷遺跡	七
8	日向遺跡	六
9	丸山II遺跡	七
10	城ヶ尾遺跡	二六
11	富沢内野山I遺跡	三五
12	桃園入ノ洞遺跡	二六
13	中畑遺跡	二兜
14	千福市場平第一遺跡	二二
15	千福市場平第二遺跡	二七
16	千福小杉平第一遺跡	二八
17	千福小杉平第二遺跡	二八
18	細野沢遺跡	二五
19	上川遺跡	三五
20	峰下遺跡	三三
21	相生原遺跡	三五

目 次

42	上城山居遺跡	三九二
41	藤畑遺跡	三九一
40	田場沢裏山遺跡	三九〇
39	一色原遺跡	三八五
38	下条遺跡	三八〇
37	景ヶ島東遺跡	三五九
36	大畑熊野神社	三五七
35	富沢内野山Ⅲ・Ⅳ遺跡	三五六
34	富沢内野山Ⅱ遺跡	三五五
33	細山遺跡	三五〇
32	尾畑遺跡	三四三
31	富沢塚松B遺跡	三四一
30	富沢中林・塚松A遺跡	三四〇
29	富沢八反田・増方遺跡	三三九
28	平林Ⅱ遺跡	三三七
27	平林Ⅰ遺跡	三三二
26	坂下遺跡	三二九
25	御宿新田遺跡	三三三
24	六反田遺跡	三三一
23	東江ノ浦山遺跡	三二九
22	茶畑大入遺跡	三〇八

43 柳島遺跡 ..... 三九四

44 中里遺跡 ..... 三九九

45 一本杉下遺跡 ..... 四〇三

46 須山大坂遺跡 ..... 四〇六

### 第三章 弥生時代

47 丸山I遺跡 ..... 四二

48 富沢原遺跡 ..... 四七

49 二本松下遺跡 ..... 四二

50 宮原遺跡 ..... 四四

51 平林・細山遺跡 ..... 四五

### 第四章 古墳時代

52 中丸・三ッ石古墳 ..... 三九

53 柳畑遺跡 ..... 四五

54 滝ノ沢遺跡 ..... 四七

55 水窪高田遺跡 ..... 三九

56 上丹古墳 ..... 四二

57 道場山遺跡 ..... 四四

58 天神山・屯屋敷遺跡 ..... 四五

59 公文名田向遺跡 ..... 四七

第五章 歴史時代

60	城ヶ尾遺跡	四九
61	カラウト遺跡	四三
62	中島遺跡	四五
63	西原台遺跡	四七
64	松葉遺跡	四九
65	町田遺跡	五一
66	五竜の滝上遺跡	五〇
67	細山下遺跡	四一
68	下条遺跡	四四
69	一色原遺跡	四〇
70	大野原遺跡	四七五
71	勝俣屋敷	四七九
72	柏木屋敷	四八二
73	茶畑城山	四八五
74	上原遺跡	四八七
75	深良陣山・堀ノ内	四九八
76	城ヶ尾遺跡	五〇三
77	深良上丹屋敷	五〇八
78	富沢牧橋尾遺跡	五二

## 第六章 石造物

79	大畑遺跡(上屋敷地区・中屋敷地区)	五三
80	大畑経塚	五九
81	大畑城跡	六一
82	千福城跡	五九
83	千福馬場添遺跡	五三
84	葛山城館跡	五七
85	金沢手城山跡	五六
86	今里中村遺跡	五八
87	公文名石塔	五五
88	久根五輪塔	五八
89	深良興禅寺宝篋印塔・五輪塔	六一
90	深良和田宝篋印塔・五輪塔	六四
91	佐野蓮光寺宝篋印塔・五輪塔	五九
92	桃園定輪寺石塔	六四
93	葛山仙年寺宝篋印塔・五輪塔	六七
94	葛山上城宝篋印塔群	六七
95	深良向田上宝篋印塔	六九

(参考石造物)

静岡県駿東郡長泉町中土狩 地藏尊石像

静岡県駿東部長泉町納米里 五輪供養塔

用語解説 ..... 三三

裾野市関係考古文献 ..... 三九

裾野市史編さん関係者 ..... 六三

あとがき ..... 六四

付図

一 裾野市遺跡分布図

二 裾野市大畑遺跡上屋敷地区遺構全体図

口絵写真 堤 勝 雄